

第 1 回 電磁界情報センター運営委員会 議事録

日時：平成 20 年 10 月 20 日（月） 16：00～18：00

場所：財団法人電気安全環境研究所 4 階会議室

出席者：渡邊委員長、日和佐副委員長、淺野委員、小島委員、小林委員、
飛田委員、藤村委員、山根委員
（オブザーバー）原子力安全・保安院 電力安全課
（事務局）財団法人電気安全環境研究所 吉澤理事長
電磁界情報センター 大久保センター所長

議題：

- （1）電磁界情報センター設立の経緯、組織、機能等について
- （2）電磁界情報センター運営委員会規程の改正について
- （3）電磁界情報センターの平成 20 年度業務計画について
- （4）電磁界情報センターの平成 20 年度実行予算及び執行実績について
- （5）電磁界情報センター開所式開催のお知らせ及びプレス発表について

議事内容：

暫定議長の指名

運営委員会開催理事長挨拶

委員紹介

- ・事務局より資料運営 1-1 に基づき、各委員の紹介があった。

定員数の確認報告

- ・電磁界情報センター運営委員会規程第 5 条第 2 項により、運営委員 9 名中、本日出席の委員は 8 名であることから、第 1 回運営委員会は成立となった。

委員長、副委員長の選任

- ・電磁界情報センター運営委員会規程第 2 条第 1 項により、委員長に渡邊委員、副委員長に日和佐委員が選任された。

(1) 電磁界情報センター設立の経緯、組織、機能等について

【報告】事務局より資料運営 1-2 について説明があった。

【質疑】委員の主な発言は以下のとおり。

- ・「人的資源について、電気事業者の関与が必要」という説明があったが、具体的にどのような関与であるか。
- 現在、センターのメンバーとして電気事業者から 3 名出向しており、東京電力、中部電力、関西電力から各 1 名ずつである。いずれも、給与はセンターからは支払われない。また、電力中央研究所を退職し、現在、センターのメンバーに加わった者が 1 名ということである。

- ・電力設備がベースのような印象を受けるが、低周波、高周波によらず全ての電磁波をセンターは扱うのか？
- センターの考えはそうである。今までの実績として、経済産業省の電力設備電磁界情報調査提供事業（情報提供事業）を財団法人電気安全環境研究所（以下、JET）が受託しており、（センター所長が）情報提供委員会の委員長を務めているが、様々な講演会を実施した際に参加者からは、低周波に限らず「携帯電話や基地局の電磁波の不安やIHクッキングヒーター等の中間周波の影響はどうか」というような質問をよく受ける。そのため、全ての周波数についてできる限りお答えしていくつもりである。

【意見】委員の主な発言は以下のとおり。

- ・（委員長）それでは、スタート地点で、各委員の方々にセンターや運営委員会、電磁波等に対する希望や思いを述べて頂きたい。
- ・消費者から寄せられる電磁波に関する相談は、家電製品から発生する電磁波の健康影響に対するものが多く、電力設備からの電磁波については消費者相談という視点からはそれほど多くない。一つの例として、日常使われる家電製品からどれくらいの電磁波が発生するのかという相談を受け、調査や測定をした経験がある。
- ・世の中に電磁波がどのくらい存在するのか調査した経験がある。小児白血病のリスクが高まるのは $0.3\sim 0.4\mu\text{T}$ （マイクロテスラ）以上という説があるが、電力設備から発生する磁界のガイドラインが $100\mu\text{T}$ であると

か電車のモーターの上では数百 μ Tという測定結果もある。我々は電磁波を通常感知しないだけであり、電波や電磁波や宇宙線などが満ち溢れておりどれだけリスクがあるのかという話になってくる。

- 一般の消費者は、日常生活の中で便利さと引き換えにどれくらいの電磁波を浴びているかを知りたがっているし、便利さと引き換えに不安感が増しているという状況がある。一方、センターの活動については、身近な情報を誰もが気軽に得られるような情報提供の場であり、その情報は偏りのない幅広い情報を集め、将来的には電磁波を体感したり電磁波の知識の教育提供の場として機能することを希望している。また、家電製品に関しては、家庭用電気機器及び類似機器からの人体ばく露に関する電磁界の測定方法について JIS 規格化の取り組みがなされており、一般の生活環境に見合った条件での検討をお願いしたいとの申し入れをしている。そういった意味から、センターの活動が暮らしの不安や消費生活を取り巻く悪徳商法などの予防にも役立つような情報の提供をおこなって欲しいと思っている。
- 難しいと感じているのは、低レベルの磁界による長期的な健康影響については証拠が弱いと言いながら磁界レベルの低減に対して配慮することにより、それを見ている消費者側は何か健康影響に問題があるのではないかと受け止めがちなことである。もしかしたらあるかもしれない健康影響のリスクに対して対応をしておくという考え方に対して、リスク情報を丁寧に提供しないと、危ないから対策をとるのだと思われることになる。また、日常生活においては電車内や飛行機などで携帯電話の使用を控えるアナウンスが流れるが、本当に不具合があるのかわかりやすいデータの提供をしないと、必要以上のリスク感を一般の人々が持つてしまうことにつながるのではないか。また、家電製品などについても、不安を持っている人々に正しいリスク情報をわかりやすく提供することが望まれる。
- センターが、全ての周波数を取り扱うという方針は消費者目線の考え方で良いと思う。消費者は携帯とか送電線とか調理器とかをそれぞれ分けて考えているわけではなく全体で不安を感じている。情報提供が一番課題と思われる。例えば現在、食の安全が脅かされているが、食品安全委員会からの農薬の情報提供の内容は、どのくらいの体重の人がどのくらいの量をどのくらいの年数食べ続けても健康への影響がないといった情

報提供の仕方である。このような情報提供の仕方は消費者にとってわかりやすいのか、わかりにくいのか私自身も判断はつきにくい、情報の出し方は消費者の心理やマスコミの影響などいろいろなことを考えながら進めていくと思う。運営委員会の役割も重いと思うが頑張っていきたいと思う。

- ・ 裁判官としての経験を活かして、運営委員会に参加させて頂ければと考えている。裁判では資料提供が一番大事であるので、運営委員会においてもできるだけ資料を出して頂き、その出された資料に基づき判断していきたい。
- ・ 電磁波のリスクの大きさを一般の人々にわかってもらうために、一つのモデルを出せれば良いと思う。例えば、白に近い灰色をどうしたら一般の人々にわかってもらうか。リスクの目安をわかりやすい言葉にして理解してもらうようなモデルを作ることを期待する。同じ不安でもメディアが起因となる不安、日常的な不安、悪質業者が起因となる不安など不安にも段階があるので、それぞれの段階に応じたわかりやすい解説書などの作成が望まれる。
- ・ 例えば、発がんリスクの考え方がある。100万人あたりに1人ががんが発症すれば発がん性物質とされるため、日本の人口約1億人あたりでは約100人となる。一方、日本のがん患者は毎年約50万人ほどであるため、50万人の内の100人という数字が大きいのか小さいのかいつも問題となる。電磁波についても、何かハザードがあるならば数値化されると理解しやすいかもしれない。
- ・ 地球という大きな磁石の中にいるため、その中で電磁界と健康影響を示すための実証は容易ではないと思われる。しかし、心配なことがあるのであれば、それを取り除くためにどのような方法があるのかを考えたいと思う。

(2) 電磁界情報センター運営委員会規程の改正について

【審議】事務局より資料運営 1-3-1～1-3-2 について説明があった。

【審議結果】

- ・ 事務局より資料運営 1-1 の名簿（氏名・役職）を公表すること及び改定

後の運営委員会規程を公表することについて各委員へ確認した結果、公表に反対する委員はいなかった。

- ・資料運営 1-3-2 別紙の内容に関して、以下の審議内容を踏まえ、改正案を修正した後 J E T 内の規程に従って運営委員会規程を改定することの提案が事務局からあり、審議の結果、賛成された。

【審議内容】委員の主な発言は以下のとおり。

- ・第 7 条について、運営委員会は基本的にオープンのため、知り得た情報を公開しないことは矛盾が生じる。
- ・基本的に公開であるが、個人情報などの非公開情報を取り扱う場合も考えられるため、その場合、事務局にて当該情報に非公開である旨を記載してはどうか。
→そのような取り扱いとさせていただきます。

- ・条文中に「不法に」とか「正当な理由がなく」という言葉を入れてはどうか。
→再度、文案を検討します。

- ・第 4 条について、第 3 項に「委員都合による委員の退任」に関する条文を入れてはどうか。
→当条項は委員の懲罰的な意味合いから設けた条項ですが、ご意見については再度、文案を検討します。

(3) 電磁界情報センターの平成 20 年度業務計画について

【審議】事務局より資料運営 1-4 について説明があった。

【審議結果】

- ・資料運営 1-4 の内容に関して、審議の結果、賛成された。

【審議内容】委員の主な発言は以下のとおり。

- ・データベースについては、使い勝手が良いものが良いデータベースである。そのため、データベースに集約するデータを健康影響に関するものみに絞ってはどうか。もしくは、手始めに健康影響に関するものを優先的に集めてはどうか。

→検討します。

(4) 電磁界情報センターの平成 20 年度実行予算及び執行実績について

【審議】事務局より資料運営 1-5 について説明があった。

【審議結果】

・資料運営 1-5 の内容に関して、審議の結果、賛成された。

【審議内容】委員の主な発言は以下のとおり。

・電磁界に関する研究者は海外に多く日本は少ないため、海外情報の収集・連携をお願いしたい。

(5) 電磁界情報センター開所式開催のお知らせ及びプレス発表について

【審議】事務局より資料運営 1-6-1～1-6-2 について説明があった。

【審議結果】

・資料運営 1-6-2 の内容に関して、以下の委員の発言を踏まえ文案を修正することで、審議の結果、賛成された。

【審議内容】委員の主な発言は以下のとおり。

・「諸問題」という言葉は、問題が山積しているイメージを抱くため、「現状」に置き換えた方が良い。また、「利害関係者」という言葉もあまり一般的な表現ではないと思われる。

→再度、文案を検討します。

その他

【報告】事務局より 10 月 31 日に公開予定の電磁界情報センターのホームページ（案）の紹介がされた。

【質疑】委員の主な発言は以下のとおり。

・ホームページにキーワード検索機能はあるか。

→計画はしているが、10 月 31 日の公開には間に合いません。

・表示文字が大きい方が良いのではないか。

→検討します。

以 上